

# CTR NEWSLETTER

No.4  
March, 2020



## International Conference held at Wakayama University

### 和歌山大学最大規模の国際学会

CTRが共催し、The 2nd Critical Tourism Studies-Asia Pacific Conferenceが2020年2月17日から3日間の日程で、和歌山大学にて開催されました。これは、2018年にインドネシア、ジョグジャカルタのガジャマダ大学で開催された第一回大会に続く実施となり、参加者は30の国と地域から170人を数え、国際学会としては大学史上最大の規模となりました。

本大会は、新型コロナウイルス「COVID-19」の影響で世界的に移動の制限や自粛が広がりさまざまな対応を余儀なくされましたが、大会テーマの「Tourism in Troubled Times」は図らずも予見的で、社会混乱の際には結束や思いやりが不可欠であることを示す形となりました。困難な情勢ではありましたが、多くの参加者やスタッフ、学生ボランティアの協力により、本学そしてCTRがアジア太平洋地域における観光研究の重要な拠点であると世界に存在感を示すマイルストーンとなりました。



### 多彩な講演

学会期間中に開催された「ロンリープラネット」の共同創始者であるTony Wheeler氏、テキサスA&M大学Tazim Jamal教授、ハワイ大学Christine Yano教授による3つの基調講演では、それぞれ独自の視点による議論が展開され、観光がもつポテンシャルに改めて気づかされるような内容でした。



また、日本の観光学研究を国際的に牽引する研究者3名、山下晋司名誉教授（東京大学大学院）、遠藤英樹教授（立命館大学）、加藤久美教授（和歌山大学）による講演もそれぞれ日本の観点を提示しました。

### 観光とサステナビリティ

この学会は、世界の観光における持続可能性は人類も非人類も含めた母なる地球を健全に有効活用することが重要である、と強く訴えています。観光は、経済成長にばかり関心が集まりがちですが、それ以外の影響力も注目されるべきで、ウェルビーイングや社会の安定へ貢献するという潜在能力を体現するには、行動変容が不可欠です。



本大会に続けて、2020年8月にはCritical Tourism Studies North America が開催されます。

- ◆Critical Tourism Studies-Asia Pacific <https://www.criticaltourismstudies.com/>
- ◆Critical Tourism Studies North America <https://sites.grenadine.uqam.ca/sites/gritts/en/cts-na>

（Joseph Cheer特任教授による報告をCTR事務局にて翻訳しました。英語原文はCTRウェブサイトを参照ください。）

## Visitors and Events—Autumn and Winter from 2019 to 2020

10月21日～25日 **Dr. Graham Miller (和歌山大学特別主幹教授 / Professor, University of Surrey)** 来学

集中講義、セミナー、研究助言実施、観光学部Tourism Cafe 参加

10月21日～25日 **(観光学部・観光学研究科集中講義)**

Sustainability and Tourism

10月24日 **ツーリズムEXPOジャパン2019ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー / セミナーシリーズ Global trends in Sustainable Tourism 第2回「Driving Sustainable Tourism through Data」**

持続可能な観光指標開発について、ヨーロッパの例を元に、観光におけるサステナビリティ事業の方向性などについて解説しました。大阪市内で開催されたツーリズムEXPOジャパンの業界向けセミナーとして開催されたこともあり、各方面から多数の参加者が集まり、持続可能な観光への関心の高さがうかがえました。質疑応答時には、日本国内で観光指標開発を進めている参加者からの質問やコメントも寄せられました。(参加者54名)



11月5日～15日 **Dr. Richard Sharpley (和歌山大学特別主幹教授 / Professor, University of Central Lancashire)** 来学

集中講義、セミナー、勉強会、研究助言、意見考交換会、出版準備、共同研究実施

11月11日～17日 **(観光学部集中講義)** Dark Tourism

11月5日～7日 **(観光学研究科集中講義)** Tourism Development and Community

11月14日 **勉強会「Getting published: An editor's perspective」**

論文執筆前の準備から、執筆時や修正時の留意点まで、出版プロセスの順を追って有益なアドバイスが数多く提示された他、出版トレンドの紹介も行われました。また、査読を担う意義や実施時の心得も見解が共有され、若手研究者との意見交換が活発に行われました。(参加者11名)



11月15日 **「2019年度CTR研究集会」**

3年目となる本集会では、CTR研究支援プロジェクト(3ページ参照)の中間報告及び、CTR専任研究員による研究活動紹介が行われました。客員研究員も英語での発表に挑戦した他、学内外の学生の参加もあり、活発な意見交換は各発表時だけでなく休憩時間中にも見られました。全てのプロジェクトが実践的で、サステナビリティを重視している点も評価できると総括したSharpley副センター長からは、今後の継続的な開催へも激励がありました。(参加者15名)



11月18日～29日 **Dr. Aaron Tham (University of the Sunshine Coast)** 来学

CTR短期研究員招へい制度、セミナー、勉強会実施、観光学部授業参加

11月19日 **CTR Seminar Series 2019 Vol.4「Legacy of mega-events: A case study of the Gold Coast」**

2018年にオーストラリア・ゴールドコーストで開催されたコモンウェルスゲームズでの観察研究と二次データの分析結果を基に、経済・社会・環境への



の影響という観点から、この大会がどのような成功を収めたのかに加え、この大会のレガシーについても議論しました。さらに、これから日本で開催されるメガスポーツイベントにこの経験をどう活かすことができるか考察しました。(参加者28名)



## Conference Reports

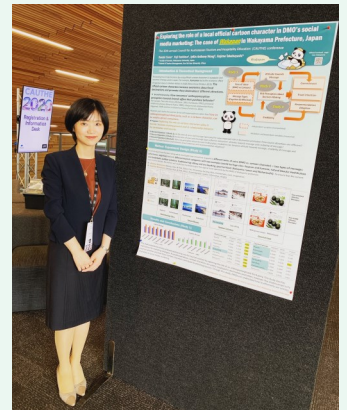
### 10月17日～19日「The 13th UNWTO/PATA Forum on Tourism Trends and Outlook」@桂林（中国）

CTR専任研究員Joseph Cheer特任教授が「Tourism in a time of rapid growth: Over-tourism policy, planning and capacity management」というタイトルで招待講演を行いました。



### 2月10日～13日「CAUTHE2020」@オークランド（ニュージーランド）

CTR専任研究員 Joseph Cheer特任教授、CTR研究員 佐野 楓准教授（観光学部）、CTR客員特別研究員 齋藤 望准教授（富山福祉短期大学）の3名が参加し、それぞれ口頭発表やポスター発表を行いました。



### 2月26日～28日 第2回「次世代観光リーダー育成に向けたワークショップ～ルーラルツーリズムにおける持続可能な開発に向けたアクション」共催

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所および独立行政法人国際協力機構（JICA）との共催で、「Sustainable Development Action in Rural Tourism」をテーマに、留学生ら参加者はシンポジウム聴講やフィールドワーク、ワークショップを行いました。初日に本学で開催されたシンポジウムは一般にも公開され、植田淳子CTR研究員も講演を行いました。2日目は熊野古道や南部梅林等を視察し、最終日は2日間をまとめるグループワークと発表会を本学にて実施しました。（参加者29名）



### 2月27日～28日 「第2回日本国際観光映像祭」

CTR研究員の木川剛志准教授が代表を務め、CTRが実行委員会の構成員である「日本国際観光映像祭」が昨年に引き続き大阪市内で開催されました。観光映像の質向上や観光交流促進のために国内外の観光映像を集めて表彰する他、同研究員の尾久土正己教授が取り組む次世代の全天候ドーム映像に関する展示やCTR客員研究員らも登壇した多様なパネルセッション等を通して、「デジタルファースト時代」の観光映像のあり方について考える機会となりました。受賞作品やプログラム詳細はウェブサイト（<http://jwtf.world/>）よりご覧いただけます。



## Upcoming Events

### 6月上旬 CTR Seminar Series 2020 Vol.1 「（タイトル未定）」

※講師： Dr. Brent Ritchie (The University of Queensland),  
Dr. Michael Volgger (Curtin University)

### 6月28日@東京 観光教育研究セミナー2020 Vol.1 in 東京「スポーツ ツーリズム5 ～メガイベントが日本社会を変える～」開催

※基調講演講師： 間野 義之教授（早稲田大学スポーツ科学学術院）

※最新情報はCTRウェブサイトをご参照ください。

# From Wakayama to Asia, and to the World

## CTR Researchers' work



### CTR研究支援プログラム採択プロジェクト

CTR内部の競争的資金の位置付けとして、6件の研究プロジェクトが2019年4月に採択されました。

詳細は、CTRウェブサイト (<http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/projects/ctrsupport/2019/index.html>) にてご覧いただけます。2020年度分の受け付けも開始しています。応募締め切りは4月16日です。詳細はお問い合わせください。



### CTR 研究員出版業績

CTR研究員の論文や著書等の業績をCTRウェブサイト (<http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publication.html>) で紹介しています。ご覧ください。研究員の皆様は業績情報をお寄せください。

研究員の皆様は業績情報をお寄せください。

## Research Support

### SPSS貸し出し開始

分析ソフトウェア (IBM SPSS, SPSS Amos) を整備しました。CTR研究員とその指導学生であれば学内での利用が可能です。

### インセンティブ制度拡大

学内のCTR研究員を対象に、観光分野に関連した競争的資金の申請及び、論文掲載に対し、インセンティブ経費を配分しています。ぜひご活用ください。

### 客員研究員制度改訂

2020年度より、CTR客員研究員制度が「客員フェロー制度」に改訂されます。新たに学生研究員が「客員ジュニアフェロー」として制定される他、新規フェロー採用は年2回の受け付けに拡大されます。4月採用分の推薦は締め切っていますが、10月採用の受け付け期間は8月頃を予定しています。

それぞれ詳細はお問い合わせください。

## Students' Activity Supported by CTR

### 観光倫理Eラーニングを作成

本学の学生グループが、UNWTOが持続可能な観光を実践するために提唱する世界観光倫理憲章 (the Global Code of Ethics for Tourism : GCET) を題材に、観光倫理について考えるきっかけづくりを目的としたEラーニングプログラム「Tourism Ethics in ONE Hour」を作成し公開しました。下記URLより、どなたも無料で閲覧いただけます。

<https://learning.tourismethics.org>



学生グループでは、観光が持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献するための基盤として、GCETのさらなる理解促進が必要だと考えており、このプログラムがGCETをより多くの人々に知っていただくきっかけになることを期待しています。

<編集・発行>

和歌山大学 国際観光学術研究センター Center for Tourism Research

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 西1号館1階

TEL: 073-457-7025

E-mail: [info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp)

Web: <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>